

序章 戦略のねらいと位置づけ

- 福岡市における生物多様性のあり方を考え、将来にわたって継続的にその恵みを楽しむための市域ぐるみの行動計画を策定するものであり、もって、福岡市の活力の維持、向上に資するための長期的な成長戦略とするものである。
- 「福岡市基本構想」を踏まえ、福岡市の生物多様性の保全と持続可能な利用を促進することで福岡市の魅力を増進するという観点から、行政・まちづくりの基本的方向性を示すものであり、福岡市の活力の維持・向上を目指す長期的な成長戦略として位置付ける。

第1章 福岡市が目指すべき姿

戦略の理念

「生物多様性国家戦略 2010」の「生物多様性の保全及び持続可能な利用の理念」を本戦略の理念として位置づけるものとする。

- ①すべての生命が存立する基盤を整える
- ②人間にとって有用な価値を持つ
- ③豊かな文化の根源となる
- ④将来にわたる暮らしの安全性を保证する

戦略の目標（100年後の将来像）

全体 『市民が多様な生き物とその生息地である自然環境の保全・再生・育成に取り組み、百年後も豊かな自然と共生し、その恵みに支えられ、命をつなぐ未来都市「ふくおか」』

地域別 ①海洋域 ②島嶼部 ③沿海部(自然的地域) ④沿海部(中心市街地・港湾地域) ⑤内陸部(市街住宅地域) ⑥内陸部(里地里山・田園地域) ⑦内陸部(山地・丘陵地域) ⑧河川部

基本的方向

本戦略の第一フェーズとなる当初の10年間は、福岡市の自然的特徴である油山・背振山などの山々から、福岡平野を貫き、博多湾へと流れる多々良川・那珂川・室見川などの河川、この福岡の自然環境のつながりを意識し、生物多様性の『保全』及び『持続可能な利用』を基本的方向の柱として、身近な自然や博多の食文化など福岡市の個性・魅力が生物多様性に支えられていることの認識を促し、生物多様性の重要性を広く福岡でも『社会に浸透』させ、生物多様性にささえられた特徴的な『文化』に更なる磨きをかけ、生物多様性における弱みを多様な主体や地域との『連携』によって補っていく。



施策の方向性

基本的方向	施策の方向性
基本的方向1 生物多様性やその恵みに関する認識の『社会への浸透』	①福岡市民が生物多様性を理解し、その保全の重要性を認識し、行動できるよう生物多様性を広く社会に浸透させます
基本的方向2 人と自然の環境を改めて考えながら生物多様性の『保全』	②ふくおかの魅力が生物多様性の恵みに支えられていることを理解し、重要性を認識できる人や組織の形成を支援します
基本的方向3 生物多様性から享受される恵みの『持続可能な利用』	③海洋、島しょ、干潟、平野、丘陵、山地、河川などふくおかの多様な生物の生息環境を守るとともに、山、川、平野、海のつながりを確保します ④動物、水生生物、植物など ふくおかの貴重な生き物を守ります
基本的方向4 生物多様性に支えられる『文化』の継承と創造	⑤ふくおかの都市構造を活かして生物多様性に配慮したまちづくりを推進します ⑥安心して暮らせるふくおかの都市基盤をつくります ⑦生物多様性の恵みを活かしてふくおかの魅力を増進します
基本的方向5 より広域な視野をもちながら地域の生物多様性を支える多様な主体や地域との『連携』	⑧生物多様性に育まれてきたふくおか固有の文化を継承します ⑨生物多様性の恵みを活かして新たなふくおかの文化を創造します ⑩ふくおかの生物多様性を支える多様な主体、多様な地域との協力関係を構築し、連携した取組を推進します ⑪ふくおかの生物多様性を支える多様な主体、多様な地域と連携していくための仕組みやルールを構築します

第2章 行動計画（行政の取組）

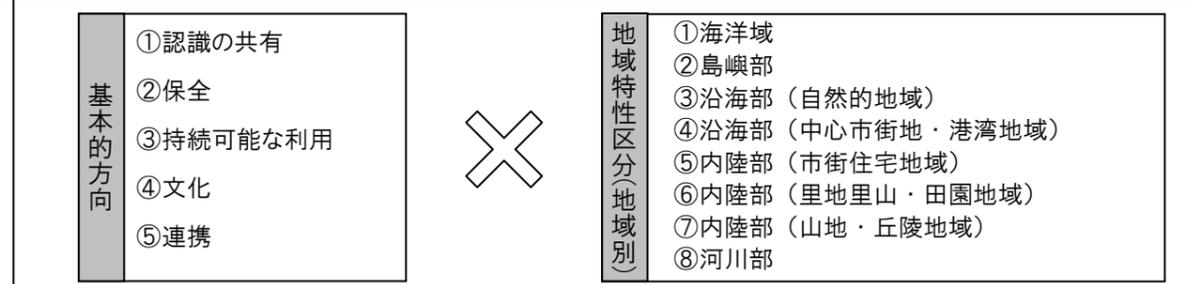
行動計画の考え方

- 福岡市においても、既に、環境基本計画、緑の基本計画、博多湾環境保全計画などにもとづく環境施策だけに留まらず、教育や福祉など幅広い分野の取り組みが生物多様性に関係している。
- 本行動計画は、新たな施策を次々に展開するというものではなく、各分野が縦割りで進めてきた環境行政を、生物多様性の視点で横串を刺し、一体的な取り組みとしていくことをねらいとする。

具体的な取り組み

- 本市の生物多様性に関わるさまざまな取り組みを体系的に示す意味から、前項で示した「基本的方向」の枠組みに沿って、本市における生物多様性に関わる具体的な取り組みを整理する。またその際には地域特性区分（地域別）との対応も整理する。
- 大学教育における環境教育プログラムの導入・充実など、本戦略の実現に向けて、新たに取り組む必要があると考えられる施策について追加する。

行政の行動計画 施策一覧（全〇〇施策）

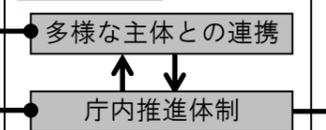


第3章 行動計画の効果的推進

各主体の役割と取り組み例



推進体制



進行管理

- 進行管理の考え方
- 進行管理の仕組み

第4章 福岡市の特性

歴史の中で培われてきた福岡市の個性／生物多様性に支えられた福岡市の魅力

第5章 生物多様性とその利用、影響を与える要因の変遷と現状

生物多様性に影響を与える要因／生物多様性の健全性／生態系サービス

第6章 福岡市における生物多様性とその利用に関する評価と課題の整理

生物多様性の健全性の変化の要因分析と課題／生態系サービスの変化の要因分析と課題

第7章 福岡市の生物多様性を取り巻く国内外の現状

環境に対する意識の変化／国や県による環境保全の取り組みの推進・支援／国際的な環境保全の取り組みの推進・支援／世界規模の外的脅威／日本国内の外的脅威／福岡市の立地特性

生物多様性に支えられた福岡市の個性・魅力

- 「文化芸術を守り育てるまち」(食文化)
- 「活気溢れる祭りや歴史が息づく観光のまち」(美しい名所)
- 「豊かな自然環境と美しい都市デザイン」(自然豊かな都市)
- 「新たな活力を創造する拠点の形成」(環境と共生する未来都市)

福岡市の生物多様性のポテンシャル

- * 「生物多様性保全」「文化的サービス」のポテンシャルが高く、福岡市の成長の「牽引役」としていくことが望まれる
- * 「基盤」「調整」「供給」の各サービスのポテンシャルが低く、福岡市の成長の足枷とならないよう改善・強化が望まれる